

北陸新幹線関連公共施設等整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	新幹線建設推進課	課長名	林 裕之			
事業主体	市町				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 11 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度		
事業実施方法	補助													
補助率	1/2～3/5以内													
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力) 政策 [9 100年に一度のまちづくり]]				関連する県の計画等		[]							
[解決すべき問題・課題] 北陸新幹線福井・敦賀間の令和6年春の確実な開業に向けて、新幹線沿線集落からの理解と協力を得て、工事を円滑に進捗させる必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 【工事の進捗状況】 ・土木工事から設備工事への引渡し：39工区/39工区 ・令和6年3月に北陸新幹線（金沢・敦賀間）が開業								
[事業目的] 新幹線沿線集落の理解を促進するため、鉄道・運輸機構の機能補償工事や国・県の既存補助事業で対応できない地元要望に対し、市町が行う地元支援事業へ県が補助することにより、円滑な工事進捗を図る。														
[事業内容] (1) 補助対象事業および補助率 市町別の「新幹線関連公共施設等整備計画」に位置付け、かつ、県が採択した事業 ①道路、河川、公園施設、用排水施設等の整備・・・1/2以内 ②集会施設の整備・・・1/2以内 ③分断された不整形農地の整備・・・3/5以内 (2) 補助対象範囲 新幹線沿線 89集落 (3) 事業実施期間 平成26年度～令和6年度（新幹線開業の1年後） ただし、各集落の用地取得率が概ね50%以上となった日以降から着手														
[受益者] 県民全体						[想定される受益者数] 75万人								
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)							
市町との連携状況	市町が沿線集落から提出されている各種要望の調整を行い、鉄道・運輸機構の機能補償工事や既存補助事業では対応できない市町が行う地元支援事業に対して、県が支援する。					他県の状況	長野県 H4年度制度創設 補助金額23.4億円(延長116.2km) 石川県 H11年度制度創設 補助金額14.8億円(延長31.6km) 富山県 H12年度制度創設 補助金額 8.6億円(延長90.2km)							

北陸新幹線関連公共施設等整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	新幹線建設推進課	課長名	林 裕之	
事業主体	市町				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	H26 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	補助							<input checked="" type="checkbox"/> 補助金		事業 経過年数		
補助率	1 / 2 ~ 3 / 5 以内							<input type="checkbox"/> その他		11 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	153,246				153,246							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		198,843	240,370	199,968	149,284	153,246	市町からの申請額の増					
2月現計予算額の推移		194,486	199,448	173,429	111,449							
決算額の推移		233,827	115,840	201,872								
前年度までの 主な増減理由	各年度、市町からの申請額によって増減											
[成果指標等の推移]												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	用地取得率 (目標)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)		取得確実な用地を含む率			
	実績	100	100	100	100	100	100					
活動指標	沿線市町が行う地元支援への補助 (目標)								市町と連携・協力して迅速かつ円滑に沿線集落の要望に対応することが目標であり、活動指標を数値で表すことができない。			
	実績											
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
用地取得率 100%				当事業は新幹線沿線集落の理解促進に大いに寄与しており、工事を円滑に進めるためにも、引き続き実施する。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

北陸新幹線早期全線開業PR事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	課名	新幹線建設推進課	課長名	林 裕之
事業主体	県				事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業区分 <input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年度) R6 年度	林 裕之
事業実施方法	直営、委託									
補助率	—									
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [9 100年に一度のまちづくり]				関連する県の計画等		[]			
[解決すべき問題・課題] 北陸新幹線は大阪まで繋がってこそ、交流人口の増加や地域経済の活性化といった効果が最大限発揮されるものであり、1日も早い全線開業を実現する必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] ・全国の交流人口 257.9百万人 ⇒ 277.0百万人(全線開業後) ・関西と北陸の交流人口 18.5百万人 ⇒ 29.3百万人(全線開業後)				
[事業目的] 1日も早い大阪までの全線開業を実現するためには、関西地域の住民に北陸新幹線の必要性を理解いただき、早期整備を求める機運を高めることが不可欠である。このため、福井・敦賀開業により高まる本県の魅力発信と合わせて、移動時間の短縮など大阪までの全線開業による整備効果を継続的にPRし、関西の機運醸成を図る。										
[事業内容] (1) 関西における情報発信イベントの開催 ・京都駅・大阪駅周辺等において、福井・敦賀開業により高まる本県の魅力と全線開業による整備効果を発信するイベントを開催 (2) 関西の北陸新幹線駅周辺における広告掲出 (3) 関西メディアへの情報発信 ・関西メディアへの情報発信、関西メディアによる現地取材に対する支援										
[受益者] 関西と北陸の交流人口						[想定される受益者数] 18.5百万人⇒29.3百万人(全線開業後)				
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 関西・中京圏からの誘客強化事業 北陸新幹線福井・敦賀開業メディアプロモーション事業 (役割分担) 事業が重複しないよう、一部のイベント・広告掲出については、上記事業予算により実施。メディアへの情報発信については、首都圏メディアと関西メディアを対象を分けて実施。				
市町との連携状況				—	他県の状況			—		

北陸新幹線早期全線開業PR事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	東海製造部新幹線・交通まちづくり局	課名	新幹線建設推進課	課長名	林 裕之			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R6 年度		
事業実施方法	直営、委託													
補助率	—													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	20,695				20,695									
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移					20,821	20,695	・年賀はがきによる県民からの情報発信の廃止 ・他事業統合による増額							
2月現計予算額の推移					20,821									
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	北陸新幹線全線開業 (目標) 実績						着工	開業	1日も早い全線開業を政府・与党に要望している					
活動指標	関西で開催するイベント数 (目標) 実績				(35) 45	(35)			京都・大阪事務所(30件)、北陸新幹線建設促進同盟会(3件)、本事業で実施する情報発信イベント(2件)					
活動指標	取材招致件数 (目標) 実績				(14) 18	(12)			関西メディアの県内取材を年間12件招致し、メディアを通じた北陸新幹線の認知度向上を図る					
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価						
・事業実績 大阪駅(令和5年8月)、京都駅(令和5年12月)でPRイベントを開催 新大阪駅、松井山手駅、京都駅に広告を掲出 取材招致件数 18件(令和6年2月現在)				引き続き、関西でのイベントや広告掲出、メディアへの情報発信を実施し、1日も早い大阪までの全線開業に向けた機運を高めていく。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

北陸新幹線敦賀駅での情報発信等推進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	課名	新幹線建設推進課	課長名	林 裕之		
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	R6 年度	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R10 年度
事業実施方法	委託									経過年数		
補助率	—									1 年		
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [9 100年に一度のまちづくり]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
福井・敦賀開業により、新幹線敦賀駅では北陸と関西・中京方面を移動する多数の旅客が、乗り換え改札・コンコースを通過する状況が新たに発生						・北陸新幹線敦賀駅の乗降客約25,500人程度/日(敦賀開業後)						
[事業目的]						福井・敦賀開業により、新幹線敦賀駅で非常に多くの旅客が乗り換えコンコース等を通過する絶好の機会を活用し、北陸三県の魅力の発信と、乗り換え客を対象としたふくいはぴコインを獲得できるキャンペーンを実施することにより、県民や県外からの旅客に新たな発見や楽しみの機会を提供する。						
[事業内容]						(1) 乗り換え客に大型3面LEDビジョンで北陸三県の魅力を発信 ・北陸新幹線敦賀駅の乗り換えコンコース内(2F新幹線柵内側)にJR西日本が設置する大型3面LEDビジョンで、北陸三県の魅力を発信 (2) 乗り換え客が抽選でふくいはぴコインを獲得できるキャンペーンを実施 ・乗り換え客が乗換改札通過時等に、自身のスマートフォンを使用して抽選でふくいはぴコインを獲得できるキャンペーンを実施						
[受益者] 北陸新幹線敦賀駅での乗降客						[想定される受益者数] 25,500人/日、9.3百万人/年(敦賀開業後)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況					他県の状況		事業内容(1)については、富山県・石川県と連携して実施					

北陸新幹線敦賀駅での情報発信等推進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	課名	新幹線建設推進課	課長名	林 裕之		
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R6 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R10 年度
事業実施方法	委託									経過年数		
補助率	—									1 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	11,651			諸収入 1,783	9,868	富山県、石川県からの諸収入						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移						11,651						
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	乗り換え乗降客に楽しみを (目標) 提供 実績								不特定多数の乗り換え客に楽しみを提供するものであり、成果指標の設定になじまない			
活動指標	乗り換え乗降客に楽しみを (目標) 提供 実績								不特定多数の乗り換え客に楽しみを提供するものであり、成果指標の設定になじまない			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
-				-				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

敦賀駅ムービングウォーク整備事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名 <small>未来創造部新幹線・交通まちづくり局</small>	課名	新幹線建設推進課	課長名	林 裕之
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分 <input type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他	事業開始年度 R2 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年度) R5 年度	林 裕之
事業実施方法	負担金									
補助率	—									
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [9 100年に一度のまちづくり]				関連する県の計画等		[]			
[解決すべき問題・課題] 敦賀駅における乗換え利便性の確保(平成29年5月、与党福井駅先行開業等検討委員会が、敦賀駅の連絡通路にムービングウォークを設置することを決定)						[問題・課題を表す客観的データ] ・敦賀駅乗降客数7, 178人(平成29年度) ※乗降客数は乗車人員×2で算出				
[事業目的] 敦賀開業後、敦賀駅西口から新幹線に乗車する利用者や新幹線と在来線を乗り継ぐ利用者の移動の円滑化と負担軽減を図るため、連絡通路にムービングウォークを整備する。										
[事業内容] (1) 事業主体 福井県 (2) 事業内容 ムービングウォークの整備 (3) 事業期間 令和2年度～令和5年度 (3) 全体事業費 94,859千円										
[受益者] 敦賀駅利用者						[想定される受益者数] 2,7千人/日				
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 敦賀駅ムービングウォーク維持管理事業 (役割分担) ムービングウォーク整備完了後、保守点検等を行う。			
市町との連携状況	県がムービングウォーク本体を整備(鉄道・運輸機構が施工)し、敦賀市が電気料金を負担する。					他県の状況	—			

敦賀駅ムービングウォーク整備事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	課名	新幹線建設推進課	課長名	林 裕之	
事業主体	県					■ 自治事務	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業開始年度	R2 年度	事業終了予定年度(見直し年度)	
事業実施方法	負担金					□ 法定受託事務	<input type="checkbox"/> 補助金	経過年数	4 年	R5 年度	
補助率	—						■ その他				
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等					
予算額											
[予算額の推移等] (単位：千円)											
区 分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移	215,000	3,606	2,800	87,100	—	—					
2月現計予算額の推移	3,986	3,606	2,800	87,100	—						
決算額の推移	3,966	1,337	2,313		—						
前年度までの主な増減理由	事業受託者である鉄道・運輸機構の年度実施計画により負担額が変動										
[成果指標等の推移]											
区 分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	ムービングウォークの利用者数 (目標) 実績					(100万人)	(100万人)	年間100万人 効果発現は北陸新幹線敦賀開業(令和6年3月)以降となる。			
活動指標	— (目標) 実績							ムービングウォークを整備することが目標であり、指標を設定できない。			
[事業の評価]											
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価			
令和5年11月にムービングウォーク整備が完了				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 完了	87,100
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

北陸新幹線福井駅コンコース連続化事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	新幹線建設推進課	課長名	林 裕之	
事業主体		(株)ハピラインふくい			事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	補助											
補助率	10/10											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [9 100年に一度のまちづくり]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 福井駅新幹線駅舎と在来線駅舎の連続化による開放的な空間の確保						[問題・課題を表す客観的データ] 天井高 新幹線駅舎：3.5m、在来線駅舎：3.5m、接続部：2.5m						
[事業目的] 福井駅コンコースの天井高は新幹線駅舎、在来線駅舎とも3.5mであるが、両駅舎の接続部においては、在来線駅舎の排煙口との関係から両駅舎の接続部は高さが2.5mとなるため、在来線駅舎の防煙区画を変更し、コンコースを通して天井高を統一、連続化することで、駅利用者に開放的な空間を提供する。工事はJRが実施し、(株)ハピラインふくいが鉄道資産としてJRから譲渡を受けるため、その取得費用について県が補助する。												
[事業内容] (1) 事業主体 (株)ハピラインふくい (2) 補助内容 天井改修、屋外消火栓設置、防煙垂れ壁改修、照明設備、通信設備、通信設備、防災設備改修 (3) スケジュール 令和3年度 覚書締結(JR、鉄道・運輸機構、福井市、県) 令和4年度 実施設計(JR) 令和5年度 工事(JR) JRから(株)ハピラインふくいに資産譲渡 …在来線駅舎における新幹線駅との連続化工事に関する部分の取得費用を県が補助												
[受益者] 福井駅利用者						[想定される受益者数] 8.9千人/日						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担		□ 無 ■ 有 事業名 並行在来線鉄道資産取得支援事業 (役割分担) JRから経営分離される区間の鉄道資産等の取得に対し、支援する。				
市町との連携状況	市が補助額の1/2を負担する。					他県の状況		-				

北陸新幹線福井駅コンコース連続化事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	米原製造部新幹線・交通まちづくり局	課名	新幹線建設推進課	課長名	林 裕之	
事業主体	(株)ハピラインふくい				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度 R5 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度) R5 年度	R5 年度	
事業実施方法	補助					事業 区分						
補助率	10/10											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由				
当初予算額の推移						378,000	-					
2月現計予算額の推移						195,000	-					
決算額の推移						-	-					
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	経営分離後の安全・安定 運行 (目標) 実績									経営分離後の安全・安定運行に必要な補助であり、成果指標の設定に なじまない		
活動指標	経営分離後の安全・安定 運行 (目標) 実績									経営分離後の安全・安定運行に必要な補助であり、活動指標の設定に なじまない		
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価			
令和6年2月 福井駅コンコース連続化工事がしゅん工					-				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
									<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 完了	195,000
									<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

北陸新幹線しゅん功開業記念式典開催事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	新幹線建設推進課	課長名	林 裕之		
事業主体		北陸新幹線金沢・敦賀間しゅん功開業式等福井県実行委員会			事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度	
事業実施方法		負担金		<input type="checkbox"/> 法定受託事務				<input type="checkbox"/> 補助金					■ その他
補助率		-											
福井県長期ビジョン における位置付け		分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [9 100年に一度のまちづくり]		関連する県の計画等		[]							
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]							
令和6年3月に北陸新幹線(金沢・敦賀間)が開業						【北陸新幹線の取扱いについて】(令和2年12月16日付け国土交通省公表) 北陸新幹線 金沢-福井-敦賀間 「安全確保を大前提としつつ、令和5年度末の完成・開業に向けて最大限努力する。」							
[事業目的]													
半世紀に渡る長年の建設促進活動が実を結んだ福井・敦賀開業を祝うとともに、関係者に謝意を表すため、しゅん功開業式・祝賀会を開催する。併せて、並行在来線の開業祝賀会を開催する。													
[事業内容]													
(1) 名称 北陸新幹線金沢・敦賀間しゅん功開業式・祝賀会およびハピラインふくい開業祝賀会 (2) 主催 北陸新幹線金沢・敦賀間しゅん功開業式等福井県実行委員会 (3) 場所 コートヤード・バイ・マリ奥特福井 (4) 参加者 国会議員、関係省庁、沿線府県、県・市町関係(首長、議員等)、経済界・諸団体、JR西日本、東日本、鉄道・運輸機構、ハピラインふくい等 (5) 主な内容 主催者あいさつ、来賓祝辞、鏡開き、万歳三唱等 ※別途、別会場でタイムカプセルを開封 (6) 全体経費 23,000千円													
[受益者] 県民全体						[想定される受益者数] 75万人							
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況		新幹線駅設置市(あわら市、福井市、越前市、敦賀市)も負担金を拠出				他県の状況		新幹線開業日に記念式典を開催 H27.3.14 石川県、富山県、長野県、新潟県 R4.9.23 佐賀県、長崎県					

北陸新幹線しゅん功開業記念式典開催事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	課名	新幹線建設推進課	課長名	林 裕之		
事業主体		北陸新幹線金沢・敦賀間しゅん功開業式等福井県実行委員会			事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	負担金											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移					12,000	—						
2月現計予算額の推移					12,000	—						
決算額の推移						—						
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	— (目標) 実績								記念式典を開催することが目標であり、成果指標を設定することができない。			
活動指標	— (目標) 実績								記念式典を開催することが目標であり、活動指標を設定することができない。			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
令和6年3月16日に北陸新幹線金沢・敦賀間しゅん功開業式・祝賀会およびハピラインふくい開業祝賀会を開催				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 完了	12,000	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

関西メディアを通じた北陸新幹線開業PR事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	新幹線建設推進課	課長名	林 裕之
事業主体	福井県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 R5 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年度) R5 年度	R5 年度
事業実施方法	委託										
補助率	—										
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [9 100年に一度のまちづくり]					関連する県の計画等		[]			
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]					
北陸新幹線は大阪まで繋がってこそ、交流人口の増加や地域経済の活性化といった効果が最大限発揮されるものであり、1日も早い全線開業を実現する必要があります。						・全国の交流人口 257.9百万人 ⇒ 277.0百万人(全線開業後) ・関西と北陸の交流人口 18.5百万人 ⇒ 29.3百万人(全線開業後)					
[事業目的]											
関西のメディアに対し、福井・敦賀開業に向けて高まる本県の魅力や県民の盛り上がり、さらには全線開業による整備効果などを取り上げるよう働きかけることにより、北陸新幹線に対するポジティブな情報発信を拡大し、早期全線開業に向けた関西の機運醸成を図る。											
[事業内容]											
(1) 関西メディアへの情報発信 ・北陸新幹線に関する情報をメディアが利用しやすい形に整理し、訪問活動やメディアミーティング等を通じて、関西メディアに情報発信 (2) 本県への取材誘致 ・現地取材に要する費用を支援するなど、本県への取材を誘致し、関西における北陸新幹線のポジティブな情報発信を拡大											
[受益者] 関西と北陸の交流人口						[想定される受益者数] 18.5百万人⇒29.3百万人(全線開業後)					
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 北陸新幹線開業に向けたメディアプロモーション事業 (役割分担) 事業が重複しないよう、首都圏メディアと関西メディアに対象を分けて実施				
市町との連携状況	—					他県の状況	—				

関西メディアを通じた北陸新幹線開業PR事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	課名	新幹線建設推進課	課長名	林 裕之		
事業主体	福井県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分 <input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	R5 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R5 年度	
事業実施方法	委託											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移				18,510	-							
2月現計予算額の推移				18,510	-							
決算額の推移					-							
前年度までの主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	北陸新幹線全線開業 (目標)					着工	開業	1日も早い全線開業を政府・与党に要望している				
活動指標	取材招致件数 (目標)			(14)				関西メディアの県内取材を年間14件招致し、メディアを通じた北陸新幹線の認知度向上を図る				
				18								
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
・事業実績 取材招致件数 18件 (令和6年2月現在) ・令和6年度は関連事業と統合				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	18,510	
								<input checked="" type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		